



No.158

メロン、丸い形は地球に見える？メロンのようにおいしく、その表面の網目のように
緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします！

報告	ボランティアセミナー報告	…… 1	カレンダー	2020年11月のcomm cafe ランチカレンダー	…… 5
シリーズ	MAFGAにつながる方へのインタビュー その4	…… 3	お知らせ	協会・他団体からのお知らせ	…… 6
紹介	シェフ紹介 ～アブドウさん	…… 4	巻末	編集後記	…… 8

ボランティアをはじめよう～多文化共生社会を支える地域の力に

秋のボランティアセミナー「コロナ禍での外国人市民～大阪ミナミでの支援活動から～」を聴いて

2020年9月5日 場所：多文化交流センター

毎年春と秋に開催される協会主催のボランティアセミナー。新規に協会のボランティア活動に参加したい方が主な対象で、多文化共生について学ぶ。新型コロナウイルス感染拡大防止のため春のセミナーは中止となったが、この秋のセミナーには、例年よりも多くの参加申し込みがあった。外国人市民の支援を考える概論や日本語教室での学習支援について、講師を招いてお話ししていただいた。今号では、1回目の講演を報告する。講師の金光敏さんは、^{キム クァンミン}コリアNGOセンター事務局長を務める傍ら、2013年から外国ルーツの子ども達の学習や居場所づくりを支援するMinamiこども教室を運営している。

■日本に住む外国人の現在

近年、日本に住む外国人の状況は大きく変容している。講演では、法務省の統計に基づいて、在留外国人^{*1}の人口の推移と内訳について説明があった。

2019年末の在留外国人数は293万人で、前年度より7.4%増えた。過去最大の増加率だ。日本全体に占める外国籍人口の比率が2%強になったが、先進国の中では依然として低い。在留資格別に見ると、「技能実習」が著しく増加している。この影響は国籍別の人数にも表れており、ベトナム国籍の人が前年度から24.5%増え約41万人、インドネシア国籍の人が18.7%増え約6万6千人となっている。

これらの数字は、国籍が日本以外の人を表しており、帰化して日本国籍を取得した人や、日本人との国際結婚の両親を持つ日本生まれの子ども（現状で日本と外国の両方の国籍を持つ場合、日本国籍としてカウントされる）は含まれない。つまり、外国にルーツを持つ人の全体は

これらの数字からはわからない。また、技能実習生の増加の一方で、特別永住者^{*2}は減少している。在日コリアン1世や2世の高齢化や、帰化、世代交代などが原因として挙げられる。しかし、日本国籍への帰化や、日本人との国際結婚により子どもの国籍を日本にするといった選択の背後には、

日本社会に根深くある民族差別や、自由に国籍を選択できない要因があることを、私たちは忘れてはいけない。金さんは、大阪市生野区に生まれた在日コリアン3世。



キム クァンミン
金 光敏さん

*1 中長期在留資格者と特別永住者を指す

*2 日本の統治下におかれた朝鮮半島、台湾から終戦時までに日本に移住した人とその子孫をいう。

発行・差出人：公益財団法人箕面市国際交流協会(MAFGA)

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西 5-2-36 箕面市立多文化交流センター内

Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920 E-mail : info@mafga.or.jp HP : www.mafga.or.jp

賛助会員数：283名 法人会員数：29団体(2020年10月16日現在)



会場は感染対策で間隔をとったとはいえ多くの参加者があった

思いを抑えて、次のように語りかけた。「ほとんどの日本人は、かつて日本が植民地支配をし、多くの人の人権を侵害していた歴史を正しく知らない。占領された地域にいた人々にとって、それは寂しいことだと思います。踏んづけた側は忘れる。一方、踏んづけられた側は、その痛みを忘れることがないように、苦しみが2度と繰り返されないようにと歴史教育の中で受け継いでいく。そうして国民間の歴史認識にギャップが生まれるのです」

■地域のプラットフォームづくり

2012年、大阪市内で母子の無理心中事件が起きた。生活苦に陥ったフィリピン人女性が、幼い子ども2人を刺し、自らも命を絶とうとし、長男だけが亡くなった。金さんは、地元・大阪の地で起きた悲劇に衝撃を受けるとともに、親子の孤立を防げなかったことに憤りを感じたという。事件をきっかけに、孤立しがちな親子を支えるネットワークが必要であると、Minamiこども教室（以下、教室）を開設。外国ルーツを持つ子どもの学習補充が始まった。教室は学力向上を目的としているのではなく、子どもたちが安心して過ごせる安全な居場所の機能が大きい。前出の事件の子どもの通っていた大阪市立南小学校が、設立当時から密接に連携しており、見守りを必要とする子どもを教室につないでくれる。結果として、ひとり親家庭や貧困家庭の子どもが中心になっている。詳しくは金さんの著書「大阪ミナミの子どもたち」をご覧ください。

大阪府の総人口における在留外国人の比率は2.8%だが、大阪市の島之内地域では30%と非常に高い。実際、南小の在籍児童を見ると、半分ほどが外国ルーツを持っている。その多くの親が、ミナミの歓楽街でサービス業や飲食業で働いている。新型コロナウイルスは、住んでいる地域や国籍に関係なく人々に大きな打撃を与えた。島之内に住む多くの外国人もまた、数か月間、無収入に陥った。日本政府による特別給付金は、国籍に関わらず日本に住むすべて

の人を対象にしたが、言葉の壁に阻まれ受け取れなかった外国人も多かったらう。

コロナ対策の給付金に限らず、行政が用意している各種支援金（健康保険、児童扶養手当、就学援助金など）でさえ、知るすべも申請方法もわからず、受給できていない人が多い。申請に必要な書類を用意するのは、日本語のわかる人にとっても非常に難しい。さまざまなことにおいて共通しているが、【できる人ベース】の社会構造の中では、【できない人】はこぼれ落ちてしまう。【できない人ベース】の視点が必要だ。行政のサポートが不十分なのではなく、行政の窓口や支援団体だけではカバーできない現実があるのだ。これを補うのが、近所づきあいや学校といった地域のつながりだ。教室には多くのボランティアがいて、学習支援をすると同時に、行政窓口に付き添ったり、親子の生活のサポートをすることもある。金さんは言う、「子どもたちにはたくさんの可能性がある。すべての子どもが、自己実現できる社会は、誰にとっても生きやすい社会。「支援」することは「ええこと（善いこと）」をするのとは違う。ボランティアだからこそこできることは、組織では届かないきめの細かい伴走型の支援。個人個人を支える力になってほしい」

■私たちにできること

お話を聴いて、日本社会は多文化共生に向けてもっと加速しなくてはいけないと感じた。議論を重ねることや体制を整えること以上に、一人一人が視点を変えて、同じ地域の住民同士として、外国人市民に出会うことが第一歩になる。行政などの公的な窓口よりも、もっと個人的で近い関係性、たとえば近所のスーパーでばったり会って、近況を気軽に話せるような、そういった関係性の積み重ねが地域のネットワークにつながっていく。協会の立地する箕面市小野原地域は、多国籍な住民や、さまざまなルーツを持つ多様な人たちが行き交っている。comm cafeでは、ランチを提供するシェフをはじめ、働く人もお客さんも実に多様だ。日本語教室には、多くの外国人市民が通っている。ボランティア活動に参加したいと考えている方は、ぜひ、多文化交流センターに来て、いろいろな人と出会ってみてほしい。（島田）



本文中で紹介された本

大阪ミナミの子どもたち
～歓楽街で暮らす親と子を支える
夜間教室の日々～

金 光敏 著
(彩流社・2019年)

紹介



MAFGAにつながる方へのインタビュー その4

スリラ スンダル ラール

SURIRA SUNDER LAL さん (インド料理店「ハーバルインドヨガ」店主)



とてもフレンドリーなスリラさん。
店内はまるでインドに来たみたい。

箕面市東部、粟生団地ショッピングセンターにあるインド料理店のオーナーであるスリラさんは、多民族フェスティバルにも出店され、協会とは馴染みのある方。いつも美味しい料理を食べにいく

ばかりだったが、今回初めてゆっくりお話を伺うことができた。

スリラさんは、インド北部ウッタラーカンド州生まれ。中学3年の時ムンバイに移り、就学を終えて就職。その後ニューデリーを経て、1994年34歳の時、日本でがんばろうと夢を抱いて単身来日。四国にある飲食関連会社で13年間働いた後、知人の紹介で吹田市にある国立民族学博物館のレストランのシェフとなる。勉強熱心なスリラさんは、「レストランみんなく」での仕事を好機と捉え、周囲の外国人シェフたちの様々な料理や調理法に触発され、また日本人から日本流のビジネスの仕方を学び、2009年箕面で自分の店を開く。

外国人として店を経営するには苦労もあったが、リスクは付き物と前向きに受け止め、近隣の店主たちの協力、大阪大学外国語学部や千里国際学園の先生たちの応援を得、困った時は友人や協会に相談して乗りきった。以来、店名の通り「Herbal」＝自然の恵みである様々なスパイスを「Indo」＝祖国インドから取り寄せ「Yoga」＝ヨガのように健康をもたらす料理を提供してこられた。

客はほとんどが日本人で、箕面近辺だけでなく大阪市内や他府県から来る常連さんも多い。スリラさんは「みんなからもらったサポートは死ぬまで忘れない」「自分は本物のインド料理を提供して、みんなの元気をサポートしたい」と強い意志を示す。「3年前の台風で店の換気扇

から水が入り製氷機が壊れてしまった時、機械が古いからと補償対象にならなかった。以後、台風が近づくと看板を片付けるなど自力の防災準備を心がけている。最近では、協会の友人に箕面市市民安全メールを英語で受け取れる方法を教えてもらい設定した。コロナ禍の影響で来客数が減った時は、常連客がテイクアウトで利用してくれた。公的支援などは使ってしまうとすぐに無くなるが、お客さんのサポートはずっと有るものだからありがたい。支えてくれる人が居ることが一番うれしく、がんばれる」

行政や諸機関への要望はないかとの質問に、きっぱり「ない」と答えられた。その態度には公助のみに頼らず、自助と共助を大切に生きてきた人の強さが感じられた。

今年60歳になるスリラさんが家族と離れ、ひとりでがんばって来られたのは持前の自立心だけでなく、周囲の人たちと信頼し合える関係性を築いてきたことも大きいと感じた。改めて非常時を乗り切る力となる人のつながりは、普段から作り上げていかなければならないのだと思った。

最後に箕面に住んで良かったことは？と尋ねると、「山も近いし・・・」と、ガンジス川源流、ネパールの山々のそばだという故郷を想う顔になった。(平沢)

特典

めろん11月を持参のお客さんに
マンゴーラッシーをサービス！
マンゴーの黄色は、インドでは元
気の象徴で病に打ち勝つ力を表
す色とのこと。



Information

Indian Restaurant Herbal Indo Yoga インド料理ハーバル・インド・ヨガ

営業時間 10:00~21:30

大阪府箕面市粟生間谷西2-6 TEL 072-734-6210

<https://www.herbalindoyoga.com/index.html>



1DAY シェフの紹介 アブドゥさん



セネガルはアフリカの西端にあり、大西洋に面している。4 年前、日本に來日し働いているアブドゥさんは、祖父母や両親の代からずっとセネガルの首都ダカールに住み続けてきた生粋のダカールっ子である。

セネガルは 1960 年フランスから独立、セネガル共和国になった。地図を見ていると興味深い事に気づく。セネガルの中にガンビアがあり、もちろん海には面しているが陸地はすべてセネガルに囲まれている。この点をアブドゥさんに尋ねると、独立前セネガルはフランス、ガンビアはイギリスに統治されていたため、同じころ独立したにもかかわらず、統治国が一つになることを承知しなかったのだと言う。セネガルはウォロフ族が多くウォロフ語が使われているが (公用語はフランス語)、ガンビアにもウォロフ族が住んでいてウォロフ語を話している (公用語は英語)。この辺りは、幾つもの民族がミックスしていてそれぞれの言語が使われている。アブドゥさんにフランス語も話すのかと尋ねたところ、首を振って否定された。セネガルの国旗 (緑・黄・赤) の赤は独立の苦難と尊い血を表すと言う。国旗の成り立ちを知ると、セネガル人の民族への思いの深さが分かる。



セネガル風鶏のクスクス
セネガル風チキンスープ
サラダ フルーツ

今日のランチのメインは鶏のクスクス。どのお料理も非常にやさしい味で美味しい。主食はコメだが、実はタイやベトナムからの輸入が多い。クスクス、トウジンビエなども主食として食べられている。メイン料理は、肉・魚・野菜とコメを 1 つの鍋で煮込む料理 (ベンヌチン) と、煮込んでからコメなどにかける 2 つ鍋料理 (ニャーチリン) に分けられる。ベンヌチン: チェブジェン (魚)、チェブヤップ (肉) など
ニャーチリン: ドマダ、マフェ (鶏とピーナッツ)、ヤッサ (鶏)
スープカンジャなど

どちらも、ブイヨン、ガーリック、ブラックペパー、グリーンペパーなどで味付けされる。

現在、セネガルの在留日本人は 230 人程、日本の在留セネガル人は 780 人と少ないが、1962 年にはダカールに日本公使館設立、東京にはセネガル大使館もある。アブドゥさんも「小さい時から日本と言う国がある事を知っていたよ。日本の印象は、安全で自由」とおっしゃる。セネガルは近年観光にも力を入れているという事なので、旅行ができるようになった時には行ってみたい。(井嶋)



胃腸科 内科 外科 肛門科 リハビリテーション科

おざわクリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
am9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
pm1:00~3:00 (胃カメラ)	□	□	□	□	□	□
pm5:00~7:30	○	○	○	○	○	○

※診療開始 30 分前から受付します。

■胃カメラは予約制です。

■休診日: 土曜日午後・木曜日・日曜日・祝日

■<http://ozawa-clinic.world.coocan.jp/>

【住所】〒562-0023

箕面市栗生間谷西 3-7-9 シャトー野間 1F

阪急バス停留所「宮の前」 スーパーマルヤス向い

■無料駐車場 有

TEL: 072-730-0721



エスパーロ
能勢
espero nase

フェアトレード雑貨と古民家カフェ

豊能郡能勢町地黄 476

営業時間: 金~月 11:00 ~ 17:00

<http://espero-osaka.com/>

箕面市国際交流協会の 多言語による生活相談窓口

電話 072-727-6912
(日本語・英語)

メール soudan@mafga.or.jp

子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格など、生活での悩みや困りごとに対応します。秘密厳守。相談は無料です。

日時: 火曜日から日曜日 9:00~17:00

受付方法: 来館、メール、電話

対応言語: 日本語、韓国・朝鮮語、

中国語、英語、ポルトガル語

場所: 箕面市立多文化交流センター

11月

November



comm cafe ランチカレンダー

コム カフェ

火～土

★朝カフェ … 9:30 ～ 11:30

★ランチタイム … 11:30 ～ 14:00

* 売り切れ次第終了します *

★午後カフェ … 14:00 ～ 17:00

日・祝日

★世界の朝ごはん (ドリンク付 660 円)

… 10:00 ～ 13:00 * ランチはありません

★ランチセット (ドリンク付 510 円)

… 9:30 ～ 15:00 * ランチはありません

ランチは 880 円 (税込) です。

* ランチタイムのみプラス 100 円でコーヒー・紅茶・ジュース・季節のドリンクがつけます。

●ご予約 (comm cafe 直通) 072-734-6255

☒ … スナック or スウィーツの日 ① … カフェで開催するイベント

各種イベントの詳細は「めろん」P6・7をご覧ください。

comm cafe からのお知らせ

★平日もモーニングはじめました! 9:30am ～ 11:00am L.O.

◆トーストセット 510 円◆ 手作り食パン、ブルガリアのアプリコットジャム、ギリシャヨーグルト、ゆで卵
NZ 産バター、ドリンク (コーヒー、紅茶、ジュースのいずれか) つき

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どうようび	にちようび
◆インドネシアのラトナさんのチャレンジカフェは、11/14 (金) お楽しみに! ◆「箕面お買い物割引券」使えます! (1,000 円以上のお支払のみ) ◆ランチのテイクアウト (お弁当) は 880 円 (税込み) で、ご用意します。						1 スランチセット (9:30 ～ 15:00) 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00 ～ 13:00
2 休館日	3 スランチセット (9:30 ～ 15:00) [祝日] ☒ MAFGA スナック	4 ジェニーさん 《アルメニア》	5 ホーさん 《香港》	6 セバルさん 《トルコ》	7 アスドウさん 《セネガル》	8 スランチセット (9:30 ～ 15:00) 世界の朝ごはん 《ベトナム》 10:00 ～ 13:00
9 休館日	10 ノックさん 《タイ》	11 セイハンさん 《トルコ》	12 テイさん 《ベトナム》	13 ホーさん 《香港》	14 チャレンジ カフェ ラトナさん 《インドネシア》	15 スランチセット (9:30 ～ 15:00) 世界の朝ごはん 《ペラルーシ》 10:00 ～ 13:00
16 休館日	17 いずみさん 《ベトナム》	18 史さん 《中国》 ① シカモサロン 10:00 ～ 11:00	19 ズイアさん 《ニュージーランド》	20 チームシカモ 《多国籍》	21 テイさん 《ベトナム》	22 スランチセット (9:30 ～ 15:00) 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00 ～ 13:00
23 [祝日] スランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック ① アートの小箱 12:00 ～ 14:00	24 セバルさん 《トルコ》	25 ノックさん 《タイ》	26 ラニアさん 《エジプト》	27 洪さん 《コリア》	28 ジェニーさん 《アルメニア》	29 スランチセット (9:30 ～ 15:00) 世界の朝ごはん 《インドネシア》 10:00 ～ 13:00
30 休館日						

- ベジタリアン、ハラール、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。また急きょ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook をご覧ください。https://www.facebook.com/mafgachallengecafe



国際交流協会(MAFGA)からのお知らせ

下記についての問合せ・申込みは(公財)箕面市国際交流協会まで

※開催場所：箕面市立多文化交流センター

電話：072-727-6912 FAX：072-727-6920 E-mail：info@mafga.or.jp

定例イベント	11/7(土) 12:00～13:00	NZ ハット市とのオンライン交流会 ZOOM を使って生の国際交流ができる定例イベント 【テーマ】気候変動・異常気象の影響と軽減化の取り組み	場所：講座室 A・B 参加費：無料（予約不要） 申込：当日、お越しください！
	11/18(水) 10:00～11:00	シカモ サロン ～世界のことばと文化をめぐる～ 【話し手】サレヒ メヌシュ（イラン・ペルシャ語） サファヴィー朝の壁画から知るペルシャ文化	定員：10 名程度（申込み不要） 場所：comm cafe 参加費：500 円（お茶菓子付き）
	11/21(土) 18:00～20:00	みのお cinema 上映会 毎月 1 本、視点を豊かにする映画を上映。 上映後には、感想交流会も。 【上映作品】『幸せの経済学』 原題：The Economics of Happiness/2010 年 /68 分	定員：10 名（先着順） 場所：ミーティング室 参加費：500 円（賛助会員・大学生） 800 円（一般） 申込：電話・窓口・メールにて
ワークショップ	11/23(月・祝) 12:00～14:00	アートの小箱を開けてみる Vol.7 アートに興味のある人、対話型ワークショップに興味のある方対象。アート作品を切り口に、自らの内面の多様性に気づくワークショップイベント。 ★秋なので「おしゃれ」がテーマ。皆で語りませんか。 ◎講師：野崎 ターラー（コラム「アートの小箱」執筆者）	定員：10 名程度 場所：comm cafe 参加費：ワンドリンクオーダー制（300 円～）
イベント	12/5(土) 10:00～12:00	多文化体験・交流・学びクラブ「まふがっこ」 地域で暮らす外国人市民との交流で多様性を体験するプログラム＆ワークショップあり。 テーマ：ベトナムの子どもの遊び ◎講師：ド フォン タオさん（ベトナム出身）	対象：小学生 定員：10 名（先着順） 場所：会議室 参加費：無料 申込：11/10（火）から 電話・FAX にて
共催イベント			
オンラインセミナー	11/28(土) 14:00～16:00	大阪大学まなびのカフェ 2020 「コロナ時代に考える多文化共生」 新型コロナの流行は、日本人にとっても、外国人市民にとってもさまざまな影響を与えたことを、ともに考え、ともに語り合う。 ◎話題提供者 小笠原 理恵（大阪大学人間科学研究科） ズィア ローズ（箕面市国際交流員） クラウドピア エリウス オセグダ フィグロア（箕面市国際交流員）	場所：Zoom 会議室 定員：40 名（先着順） 参加費：無料 申込：QRコードで 主催： 大阪大学人間科学研究科未来共創センター 共催：（公財）箕面市国際交流協会



唐木幸子バレエスタジオ ～箕面の地で 38 年の歴史～

＊バレエコース：教師歴 55 年の唐木幸子と、「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校教師養成学科」卒業、バレエ教授法取得証明書（Diploma）取得、教師歴 25 年の唐木智子が丁寧に指導致します。「バレエは芸術」として楽しんで長く続けられるように、また中高生にはクラブ活動や受験で断念する事のないよう配慮しています。幅広い年齢層（3 才～70 才位）で目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

＊健康コース：現在、大学教育にもなっている「姿勢科学」理論に基づいた姿勢調整をいたします。（姿勢科学療法）

〒562-0041 箕面市桜 4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前（駅より 30M）
072-721-6300 / 721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>

（公社）日本バレエ協会会員・AODT 会員



他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの各団体へお願いします。

展示会

南蛮文化館～南蛮美術を集めたミュージアム

11/1 (日)
～29 (日)

南蛮美術を中心に、安土桃山時代から江戸時代の初期までの約 100 年間に作られた美術品、工芸品をはじめ、陶器や漆器、古文書、キリスト教関連品を展示する私設美術館。毎年、5 月と 11 月のみ開館する。

場所：南蛮文化館
(大阪市北区中津 6-2-18)
開館時間：10:00～16:00
休館日：会期中(11/1～30)の月曜日
入館料：大人 800 円 大学 / 高校 600 円
中学生以下無料
問合せ：☎06-6451-9998

上映会

第 2 回 ちょっとロハスな映画祭

「マイクロプラスチックってなあに？」DAY

11/8 (日)
10:00～17:00

◎映画上映
①10:00～『マイクロプラスチック・ストーリー ぼくらが作る 2050 年』
②12:30～『懐かしい未来 ラダックから学ぶ』
③13:30～『マイクロプラスチック・ストーリー ぼくらが作る 2050 年』
④15:45～『パーマカルチャー 地球とつながる楽園の暮らし』
◎ワークショップ(有料) みつろうエコラップ作り他

場所：豊中市立 eMIRAIE 環境交流センター
(豊中市中桜塚 1-24-20)
参加費：①③800 円 ②④500 円
共催：あしたの暮らし とよなか、
豊中市立 eMIRAIE 環境交流センター
申込み・問合せ：☎06-6844-8611
E-mail：office@kankyokoryu.jp

フォーラム

第 35 回みのお市民人権フォーラム

◎全体会・記念講演

生き心地の良い社会をめざして
～自殺対策の現場から～12/5 (土)
13:30～15:40★リモート参加可
(要事前申込み
11/20㍻切)

◎講師 清水 康之
(NPO法人 自殺対策支援センター ライフリンク代表)
■場所：グリーンホール(市民会館)大ホール 箕面市西小路4-6-1

◎「在日外国人」分科会

新型コロナ禍での外国人市民を取り巻く環境、等

～あなたはこの実情を知っていますか～

詳細はこちら

12/5 (土)
17:00～19:00

◎講師 金 光敏さん
(特活) コリア NGO センター 事務局長)

■場所：グリーンホール(市民会館)ホワイエ
箕面市西小路4-6-1



多文化交流センターで購入できます

参加協力費：

・全体会+分科会フリーパス：1,000 円
・分科会フリーパス：500 円
(すべての分科会に参加可)

*障害者市民・高齢者市民は有料

ただし、それぞれの介助者はすべて無料

*高校生・大学生は、それぞれ半額

*中学生以下はすべて無料

◆各分科会については、下記までお問い合わせください。

申込み・問合せ：第 35 回みのお市民
人権フォーラム実行委員会 事務局

☎072-722-2470 FAX072-734-6509

E-mail：jinken-jimu-minoh@silk.ocn.ne.jp

イベント

ありがとう&さようなら箕面間谷キャンパス

12/6 (日)
10:00～

来春の移設予定の大阪大学箕面間谷キャンパスで、卒業生、現役生、教職員、そして地域住民の方が参加できる最後の催し！

外国語学部生による語学劇、写真部による写真展、茶道部によるお茶会、演奏やパフォーマンスなどキャンパスをお腹いっぱい楽しめる。キッチンカーで軽食の提供あり。
13:00～ 記念式典
11:00～、14:00～、16:00～キャンパスツアー(約1時間)

場所：大阪大学箕面間谷キャンパス
(箕面市粟生間谷東 8 丁目 1-1)

主催：大阪大学外国語学部、
同日本語日本文化教育センター

ありさよ実行委員会、同窓会咲耶会

問合せ：大阪大学外国語学部箕面事務局
☎072-730-5007

詳しくは↓

咲耶会HP <https://sakuyakai.net/>

coupe de Minami

スクール coupe de MINAMI

南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか？



ボディに布を直接
のせて服をつくって
みましょう！
(立体的裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)

昭和42～45年 フランス・パリの洋裁学校にて立体的裁断、
デザイン等を修得

昭和45～47年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー

昭和47年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします！ ◆パターンや立体的裁断も教えます。 ◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください！

●問合せ：〒562-0012 箕面市白島2-2-30 電話 / FAX 072 (721) 4151
E-mail info@coupe-de-minami.com URL <http://www.coupe-de-minami.com>

めろん編集ボランティアスタッフ 募集中!

「めろん」は箕面市国際交流協会と協会ボランティアが協働し、地域の多様性を高める情報をみなさんにお届けしています。取材に行ったり、記事を書いたり、誌面をいっしょに作るボランティアを募集しています。イベントやセミナーの企画や勉強会なども行います。多文化共生に関心のある方、ぜひご参加ください!! 会議の日程は変更になる場合がありますので、参加される際は、事前に協会までお問合せください。

会議日程

読合せ 第2火曜日 15時～(次回は11月10日)
編集会議 第4土曜日 10時～(次回は11月28日)

作業日程

印刷 毎月最終火曜 13時～(次回は11月24日)
発送 毎月最終水曜 13時30分～(次回は11月25日)

場 所

箕面市立多文化交流センター2階

編 集 後 記

5月の下旬、末期ガンの父を自宅で看取った。半年以上の緩和ケアの間、投薬以外はほとんど何もされなかった。最期の方は水が飲みづらくなり、本人が点滴を希望しても「点滴すると頭は元気になるが、身体は余計に辛くなるから」と断られ続けた。はるか昔(33年前)、母を病院で亡くしたときは、最後の数か月は苦痛を抱えながらも対症療法を重ね、その間色々なやり取りができたのだが、今回は予想以上にあっけなく逝ってしまったと感じる。

3月くらいからは、毎晩家族が交替で夜も介護した。仕事や家庭、その他もろもろの個人的な活動を両立させることの大変さを痛感し、介護保険を使って夜間にヘルパーさんを希望したが、「夜間に動ける人は皆無」とのこと。コロナのために、医療や介護の現場はますます限界状況にあるようだ。

7月下旬には ALS を患った林優里さんの嘱託殺人の容疑で医師2人が逮捕されるというニュースが流れ、彼女が17もの事業所から細切れ時間のヘルパー派遣がされたり、望まない男性ヘルパーからの介護も受けざるを得なかったと知った。すべての「いのち」に優劣などあってよいはずがないのに、介護者を見つけられるかどうかは運次第、難病や末期がんの人を皆で支え合える社会体制が整っていないことが一層浮き彫りになった。

介護の報酬が低すぎるのが課題と思うが、SNS などでは「今こそ尊厳死を議論しよう」と呼びかける政治家や有名人の言葉に眩暈がする。彼女を追い詰めた社会の方に問題があると思うし、「患者」や「障害者」の声なき声こそ心して聴くべきだが、積極的に死ねる安楽死や尊厳死が合法化されたら、(医療費抑制や家族の負担の観点から)当事者を死へと促し、人間が人間の命を選別する流れがさらに強まるのではと危惧している。(岩城)

アクセスマップ



バス オレンジゆずるバス

- (平日・土曜)黄ルート「多文化交流センター前」または赤ルート「小野原南」から西へ約550m
 - (日曜・祝日)緑ルート「小野原西5丁目」から西へ約200m
- ※「多文化交流センター前」には停まりません。

阪急バス

出 発	バス番号	最寄バス停
千里中央 北千里方面から	30、51、55、56 58、59、66、79	① 小野原 ② 小野原西
	175、176	③ 小野原南
	70	④ 小野原西5丁目
	70、78	⑤ 関西学院千里国際キャンパス
	92	⑥ 小野原 ⑦ 小野原西

「めろん」編集スタッフ

【ボランティア】井嶋眞佐子、大橋亜由美、荻野克彦、島田希、崔聖子、平沢清美、結城なお、鷺尾則昭
【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、末原真紀、炭野洋子、鳥羽山良平

問合せ：(公財)箕面市国際交流協会 〒562-0032 箕面市小野原西5-2-36 多文化交流センター

Tel：072-727-6912 Fax：072-727-6920 E-mail：info@mafga.or.jp

HP：www.mafga.or.jp FB：facebook.com/Mafga みのお多言語ポータル：http://portal.mafga.or.jp/